

兵庫県のヨツボシゴミムシ亜科

森 正人¹⁾

はじめに

兵庫県におけるヨツボシゴミムシ亜科の種類を整理しておきたい。掲載記録は種ごとに文献記録と標本記録に分け、文献記録については記載された県内の記録地名と出典情報を明記した。標本記録については、筆者の手許にある県内標本及び知人の未公表データのなかから、原則1産地1例とし、採集頭数・採集地・採集年月日を明記した。採集者については、筆者以外のものは採集者を明記し、筆者採集のものはこれを省略した。生息環境や生態情報、全国分布、基産地などについても知り得た範囲で記述した。

各種解説

ヨツボシゴミムシ亜科 Panagaeinae

日本には8属15種が知られており、兵庫県産は次の4属6種に整理された。

ヨツボシゴミムシ属 Genus *Panagaeus*

日本には3種が分布し、兵庫県産は次の1種である。

1. ヨツボシゴミムシ *Panagaeus japonicus* Chaudoir, 1861

【文献記録】氷上郡 [山本義丸, 1958]; 洲本市安乎町 [堀田久, 1959]; 氷上郡 [岸田剛二・辻啓介, 1975]; 氷ノ山, 扇ノ山, 出石 [高橋匡, 1982]; 神戸町砥峰高原 [八木剛ほか, 2003]

【標本記録】1ex, 香住町小原, 10-VIII-2001; 2exs, 千種町ちくさ高原, 6-VII-1997; 1ex, 千種町峰越峠, 17-V-1998; 1ex, 養父市ハチ高原 950m, 30-VII-2011; 1ex, 出石町, 6-VIII-1992; 4exs, 神戸町峰山高原, 8-VI-2013; 1ex, 大河内町坂ノ辻峠, 25-VII-1999; 1ex, 篠山町川原, 22-IV-1988, 田中勇; 4exs, 神戸市道場, 17-I-1992.

原産地は日本であるが場所ははっきりしない。日本では北海道、本州、四国、九州に、海外では朝鮮、中国、東シベリアに広く分布する。兵庫県では河川や草地などの開放的な環境で得られることが多いが、疎林や林縁部などで見られることもある。冬季は朽ち木や土中で越冬することが多く、しばしば他種が混じった集団越冬が観察される。最近は目に付く機会が大変に少なくなった。

クビナガヨツボシゴミムシ属 Genus *Tinoderus*

日本産は次の1種である。

2. クビナガヨツボシゴミムシ *Tinoderus singularis* (Bates, 1873)

【文献記録】宝塚市安倉 [小田中健, 1993]

原産地は長崎。日本では本州、四国、九州に、海外では中国に分布する。関東地方では少なからず見られるが、近畿地方では大変に希で採集記録も少ない。冬季は朽ち木や土中で成虫越冬するが、前種に混じって得られることもある。頭部が細長いことから特殊な食性を連想させるが、生態情報についての正式な報告は確認できなかった。戸澤・福貴 (1933) は本種をコヨツボシゴミと称し、ヨツボシゴミムシに比べて大変少ないと記述している。画像は茨城県取手市産。

オオヨツボシゴミムシ属 Genus *Dischissus*

日本には3種が分布しており、兵庫県ではこのうち2種の記録がある。

3. オオヨツボシゴミムシ *Dischissus mirandus* Bates, 1873

【文献記録】神戸市御影 [関公一, 1934]; 氷上郡 [山本義丸, 1958]; 氷上郡 [岸田剛二・辻啓介, 1975]; 神戸市御影, Kammaki, 芦屋市, 甲東園, 川西市大和 [高橋敏, 2012]

【標本記録】7exs, 姫路市浜手緑地, 26-IX-1989.

原産地は長崎。日本では本州、四国、九州、海外では中国、台湾に分布する。地域による多少の斑紋変異があり、九州や屋久島など南方地域では後半の黄色斑紋が縮小する傾向がある(画像は和歌山県産)。関西地方では比較的大きな河川周辺の草地や河畔林などで得られることが多いが、姫路市内の緑地公園でまとまって採集したことがある。また、氷ノ山坂の谷林道(宍粟市)の樹林帯の朽ち木中で得られた事例(20exs くらい, 1984年11月, 北山私信)や宍粟市赤西林道の樹林での確認例(1ex 死体, 2011年8月, 下野私信)などもあり、得られた環境だけで生息条件を区別することが難しい。冬季は土中や朽ち木で成虫越冬し、しばしば集団となる。小菅(1948)は本種をハガタヨツボシゴミムシと

¹⁾ Masato MORI 環境科学大阪 株式会社

称し、斑紋の形が人の歯の形に似ている事を記述している。

4. ニッポンヨツボシゴミムシ *Dischissus japonicus* Andrews, 1933

【文献記録】氷上郡 [山本義丸,1958]; 篠山町 [岸田剛二・辻啓介,1975]; 出石町ほか [高橋匡,1982]; 宝塚市切畑字長尾山 [小田中健,1993]; 神戸市須磨一ノ谷, 西宮 [高橋敏,2012]
【標本記録】1ex, 宍粟市赤西溪谷,20-VIII-2016; 1ex, 但東町尉ヶ畑峠,9-VIII-2001; 4exs, 加西市青野ヶ原,21-V-1994; 1ex, 洲本市柏原山,19-X-2003.

日本では本州, 四国, 九州, 南西諸島, 海外では中国, 台湾に分布する。南西諸島には本種によく似たアシグロヨツボシゴミムシ *Dischissus notulatus* Fabricius, 1801 も分布している。筆者の採集経験では、かなり湿潤な草間で得られることが多かったが、前種と同様に生息環境の区分が難しい。なお、Fedorenko(2015) は新属 *Adischissus* を新設して本種を含めているが、論文未見のため、ここでは従来通りの扱いとした。

ケブカゴミムシ属 Genus *Peronomerus*

日本には3種、兵庫県ではこのうち2種が記録されている。

5. イグチケブカゴミムシ *Peronomerus auripilis* Bates, 1883

【文献記録】出石町ほか [高橋匡,1982]; 宝塚市売布ガ丘, 武田尾駅 [小田中健,1993]

【標本記録】1ex, 上郡町柏野(千種川),10-V-2003; 1ex, 加古川市八幡町,4-VI-1993; 1ex, 加古川市加古川左岸山陽電車鉄橋付近,26-III-1998, 田中勇; 1ex, 三木市美養川,16-III-1996; 2exs, 神戸市藤原台,13-VII-1987; 1ex, 神戸市道場,26-VI-1991.

原産地は京都と東京。日本では北海道, 本州, 四国, 海外では中国, 極東に分布している。湿地や水辺で得られることが多く、灯火にもよく飛来する。冬季は朽ち木などで得られることが多い。なお、調べた範囲では本種の四国からの記録は確認できなかったが、手許に高知県産の標本(1♂, 伊野町八田仁淀川, 22-V-2001, 森正人採集)があるので、ついでながらここで公表しておきたい。

6. クロケブカゴミムシ *Peronomerus nigrinus* Bates, 1873

【文献記録】猪名川 [大倉正文・上野俊一,1955]; 加古川河口 [高橋敏,2012]

【標本記録】2exs, 養父市八鹿町宿南円山川,19-V-2011; 1ex, 赤穂市千種川,9-XII-2000; 5exs, 上郡町鞍居川,4-VII-2011(テネラル); 1ex, 上郡町柏野千種川,10-V-2003; 2exs, 揖保川町揖保川,13-VII-2002; 1ex, 但東町,18-VI-1992; 1ex, 神戸市道

場,1-III-1992.

原産地は長崎。日本では本州, 四国, 九州に分布し、南西諸島からの記録もある。湿地や水辺で得られることが多く、灯火にも飛来する。冬季は朽ち木などで得られる。上郡町鞍居川で得られた5頭はすべて体が硬化していない新成虫であり、この時期が成虫発生期であることが確かめられた。

ヨツボシゴミムシ亜科の種類は、どれもそこそこ珍しいうえに、ゴミムシ類としては色彩や斑紋の目立つものが多く、見つけると少し嬉しくなる。ケブカゴミムシ属は湿地や水辺を狙えば何とか採集できそうだが、ヨツボシの類は活動期に狙って採ることが大変難しい。それは生息環境や生息要因が十分に把握されていないこと、さらには食餌生物が不明なことも要因なのだろう。効果的なのは越冬個体の採集で、朽ち木や切り株、崖などの土中で見つかることが多い。食性などの生態情報や記録はほとんど無いが、須田(2015) は別属ながらマルガタオオヨツボシゴミムシ *Craspedophorus mandarinus* の幼虫が、飼育下ではナメクジを好んで食べることを報告している。そういえば、クビナガヨツボシゴミムシの細く伸びた頭部は、ある種の陸産あるいは水生貝類の捕食に適応した形状に思えるがどうなのだろう。今後の生態観察や飼育研究などを期待している。

最後に貴重な情報を頂いた北山健司さん(枚方市)、下野誠之さん(箕面市)、田中勇さん(西宮市)にお礼を申し上げる。

引用文献

- 堀田久,1959. 淡路島産甲虫類目録(2). 兵庫生物,3(5):376-378.
岸田剛二・辻啓介,1975. 兵庫県多紀郡篠山町附近の歩行虫. きべりはむし,4(1/2):16-25.
小菅謙蔵,1948. 昆虫の採集. 187-198.
小田中健,1993. 宝塚の昆虫Ⅱ 甲虫目(I), 宝塚市.
大倉正文・上野俊一,1955. 原色日本昆虫図鑑甲虫編. 近畿甲虫同好会編, 保育社:89.
須田亨,2015. マルガタオオヨツボシゴミムシ幼虫の採集記録と成虫の食性等について. Sayabane N.S.(20):26.
関公一,1934. 御影町付近産の甲虫目録. 昆虫界,2(7):42.
高橋匡,1982. 但馬地方昆虫目録(予報第7報). I R A T S U M E,6:57-76.
高橋敏,2012. ゴミムシ類C. 大阪市立自然史博物館所蔵甲虫類目録(2). 大阪市立自然史博物館収蔵資料目録,(44):57-170.
戸澤信義・福貴正三,1933. 大阪附近の歩行虫類(其の2). 昆虫世界,37(428):11-16.

八木剛ほか, 2003. 砥峰高原の昆虫相 -2002 年の昆虫調査から -(第一部). きべりはむし, 31(1):1-5.
山本義丸, 1958. 兵庫県氷上郡昆虫目録, 氷上の自然第3集. 兵庫県立柏原高等学校生物教室.



1. ヨツボシゴミムシ



2. クビナガヨツボシゴミムシ



3. オオヨツボシゴミムシ



4. ニッポンヨツボシゴミムシ



5. イグチケブカゴミムシ



6. クロケブカゴミムシ